

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 267 号 2020. 7. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

各地の田んぼ報告！

今年こそ！と希望がふくらむ春、稲作においては、良い苗を作る努力を各生産者はガンバっています。そんなとき、今までにない新型コロナウイルスの問題で、「日本全国を訪問するぞ」という出足をくじかれてしまい、どのようになるのか、不安はまだ続いています。訪問できていない所もまだある中ですが、自然農法生産者の様子を、野中の目線でお伝えいたします。

栃木、長野、福井では、育苗は良く、田植えが早まる所もありました。前半の天候に感謝です。今年初めて、栃木足利の五十嵐さんの田植えの日(5月27日)に訪問させていただきました。「こんなに良い田植えは今までにない」とおっしゃっていましたが、欠株ゼロの完全な田植えには、その日、補植に力をそそぎ、その後は除草に努力していることに、毎年ほぼ雑草のない田になる始めを見せていただき、感動いたしました。

福井のコスモファームでは、6月18日、除草2回目というときに訪問させていただき、順調な様子で

コスモファームのササニシキ



五十嵐さんの田植え

した。30代の新たに自然農法を学びに来ている方(2年目)もできて、将来が楽しみです。

長野は堀さんも育苗、田植え、除草と、とても順調に運んでいるように感じ、何か良いものが見えてくる期待を感じます。堀さんから伝わった佐藤正一さんも、3年目の田んぼで、昨年より向上した自然農法に取り組んでいるようです。

今はまだこのくらいのことしか言えませんが、きっと今秋には、TOREK 自然農法稲作では、稔りの年になる予感を感じています。消費者の立場からは、心の入った自然の恵みたっぷりのおいしいお米を(エールを込めて)いっぱい(味わって)食べてください！(TOREK 自然農法普及員 野中康次)

木島平で除草のお手伝い

長野県 宮澤昌道

長野県木島平村の堀さんの援農を昨年よりさせていただいております。

お手伝いの内容として、「クログワイ」という、稲の成長に悪い影響を及ぼしてしまう草の除草を行うのですが、これが田んぼの至る所に生えており、稲と隣り合って一緒に生えているものもあり、慎重に取らないと、稲ごと取ってしまいかねません。また、根元にある種ごと取らないと、来年また生えてきてしまうようで、種ごと取るコツを掴むのが難しかったのですが、段々種ごと取れるようになり、稲を残して上手く取れるようにもなりました。

また、エンジン式の除草を兼ねた攪拌機(かくはんき)を使って、田んぼに入るときは、きれいな列で植えられた稲の間に機械を入れ、手で押していく際、誤って稲を巻き込まないように、結構なプレッシャーを感じながら慎重に行います。少しずつ慣れていき、その日は半日で1面と別の田んぼの一部をさせていただけました。しっかり除草と土の攪拌ができていいのか心配でしたが、堀さんには「しっかり

7月23日 木島平



できているよ、できているのは機械の音でわかるんだ」と言っていたと聞き、一安心。音を聞いただけでわかる堀さんのすごさ、その道の匠であるということに改めて感じた瞬間でした。

初めて堀さんの田んぼの土を手で触った感触は忘れられません。この土によって、あの堀さんの美味しいお米が生まれるのだという感動と、この土を維持していくための堀さんや、援農に来られている方々のご努力、思いを強く感じました。

援農させていただく度に、稲の成長を感じます。成長するのは当たり前なのですが、2週間でこれほど大きくなるものなのかと、とても驚かされます。稲の触った感触もかなり違うようで、以前触ったときよりも明らかに力強さがあり、これからも、もっと大きくなっていくんだぞという稲のパワーを感じます。

大自然に囲まれ、美味しい空気を吸いながら、新しいことを学べる幸せを、援農を通して感じています。微力ながら、少しでも堀さんのお力になれるように、これからも援農させていただきたいと思っています。

TOREK 東中野頒布会！宅配

7月12日、無施肥無農薬栽培の農産物を、今回は希望者を募り、宅配便を利用した頒布会を開催させていただきました。

頒布会の醍醐味は、会場に、生産者、消費者、スタッフが集い、野菜をみて、味わい、日ごろの感謝や喜びを伝えたり、味比べに驚いたりするのが楽しみなのですが、今回はこのご時世を考慮して、「宅配」というスタイルになりました。連日の雨にも関わらず、生産者の方々にご協力いただき、おかげさまで、彩り豊かな夏野菜を中心に、卵、クッキー、納豆などの加工品も頒布させていただきましたこと、心より感謝申し上げます。購入された方の感想を少しご紹介させていただきます。



「届いた自然のお野菜でカレーとサラダを作って食べました。こんな豪華な幸せな食事ができるなんて、本当に有り難いと思いました。優しい味でした。雨続きのこの季節、気持ちの浮き沈みもありがちですが、元気を頂けます。係の皆さんのメッセージもうれしかったです、感謝しています。まだご存じない方にも自然の物のおいしさをお伝えできればと思っています」

「自分で選んで買ういつもの頒布会でしたら、絶対に手に取らない野菜が届いて、食べてみると、とても美味しく、大発見！でした」など、喜びや感謝の声を多く頂きました。

また、自然農法勉強会のおかげで、無施肥無農薬でのキャベツの栽培が難しいのを消費者の方々もよくご存知で、その貴重さや有り難さを感じられたという声も届きました。

「虫くいありますが、市販のきれいなキャベツの怖さを感じました」「かじると苦味や渋みもあり、ホントのキャベツの味わいを教えていただきました」「一つ一つ丁寧に頂きたいと思えます」

「雨ばかりで生産された方々も大変だったと思います」「ホントにありがとうございました！」

お互いを想い、気遣いながらの宅配による自然農法頒布会。応援、協力していただきました皆さま、どうもありがとうございました。(スタッフ 藤井千亜紀)

お知らせ(変更の可能性あります)

★ 自然農法頒布会 7月30日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00 (売切れ次第終了)

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp